

Ⅱ 学習環境

(1) 「当たり前のことが当たり前ができる」学習環境づくり

学習環境・学習規律・学習ルールやマナーが整っていることは、児童生徒が安心して授業に参加し、意欲的に学ぶための重要な視点です。「学習環境部会」は、この「当たり前のことが当たり前ができる」という学習指導の原点に立ち戻り、「どのような環境を整えていくか」を再確認、再検討することになりました。

(2) 落ち着いて学習に取り組む環境づくり

～見通す力・振り返る力・集中力の高まり～

④ 学ぶ姿勢を育む学習環境

ア 学習規律としての「授業の始めと終わりのあいさつ」の徹底

小学校の例

「おねがいします」「ありがとうございました」を、全校統一して大きな声で行う

中学校の例

学級委員：「起立」（全員立ち、椅子をしまふ）

「気をつけ」（教師が一步前へ 下がったら）「礼」

教師：生徒の礼の完了を見届けてから礼

学級委員：教師の礼が終わったら（目を合わせてから）「着席」

イ 学習ルール・マナーの徹底

小学校の例

・聞き方と話し方のルール・マナーの徹底

聞き方名人「おはし」

お おしまいまで
は 話す人を見て
し しつもんを考えて

話し方名人「おはし」

お 大きな声で
は はやさを考えて
し しせいよく

中学校の例

・「学習のてびき」によるルール・マナーの徹底（図4）



図4 学習のてびき（豊明中）

⑤ 児童生徒の学習基盤づくり

ア 学習環境の整備

小学校の例（低学年向け）

・話形、発表内容（観察する視点）の徹底（掲示して示す）

はつびょうのしかた

・「はい」とへんじ
・みんなにきこえるこえ
「～です。」
「わたしは～とおもいます。」
（それは・・・だからです。）
「わたしも○○さんとおなじ
で～とおもいます。」
「○○さんとちがって～とお
もいます。」

かんさつ名人

「おさかなみにいく」
お おおきさ、おと
さ さわったかんじ
か かたち・かず
な ながさ
み みたこと
に におい
い いろ
く くわしく

・机やロッカーの中の位置、整理整頓

・学習のきまり、生活のきまりの拡大掲示

・板書の活用（課題を示す、思考の流れを整理する、学習内容が確認できる、児童のノートにまとめやすいように、等）

⑥ 補充的な学習内容

小学校の例

・朝学習（各学年で計画。国語、算数の基礎基本的な内容を実施。

週1 回読書タイムを実施。）

・家庭学習の習慣化

・夏季学習補充（夏季休業中）

補充コース（担任が教材を準備）

自学コース（参加児童が自分で学習教材を準備）

中学校の例

・朝学習（ST前の10分間）

・テスト週間中の質問タイム（生徒からの質問に答える）

・夏休み学習会（3日間、既習内容の補充）

・家庭学習（家庭での学習習慣を身に付けさせるために、教科担任が計画的に準備して毎日実施）

・「家庭学習の進め方」の配付（図5）

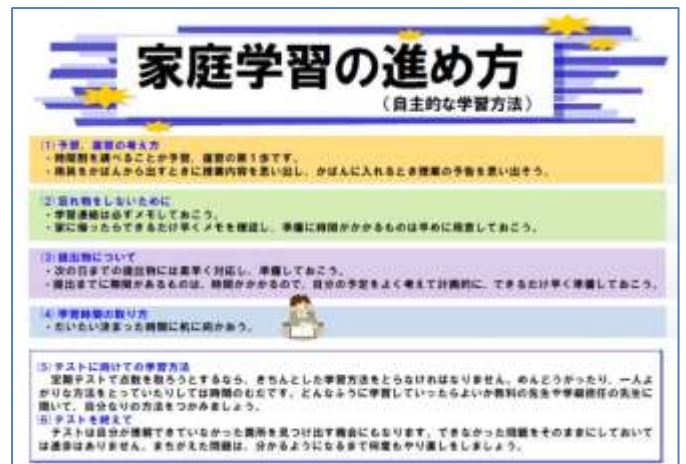


図5 家庭学習の進め方（豊明中）